

光るスライム、せっけんで動く舟… 小中生が科学実験楽しむ

九工大生が講師「笑顔に安心」

「九工大生と学ぶ子ども 塚市の九工大飯塚キャンパスで開かれた。市内の小中



一部にせっけんを塗って水面に浮かべると、前に進む紙の舟。子どもたちはびっくり

学生83人が学生79人に教わりながら、光るスライム作りやせっけんで動く舟の実験を楽しんだ。

2012年から、情報工学部システム創成情報工学科の1年生が授業の一環として実施。昨年までは小中一貫校頼田校の児童生徒を対象にしていたが、今回は多くの子どもの科学の楽しさを知ってもらおうと、市内全ての小学4年、中学1年を対象に参加を募った。

実験は12種類あり、人気のスライム実験では、洗濯のりにホウ砂を混ぜてスライムを作った後、さらに塩を混ぜて跳ねるボールに変身させたり、ペットボトルを使って「砂時計」ならぬ「スライム時計」を作ったりした。頼田小5年の伊藤豪士君(11)は、緑色のスライムを手に「固めるの

が難しかったけど、ぶよぶよして楽しい」と笑顔。講師役の大西寛太さん(18)は「何が楽しいか何度も実験して考えた。うれしそうなお顔を見て安心した」と話した。

(広田亜貴子)